



伊丹市マスコット たみまる

2024(令和6)年3月15日 第1514号 毎月1・15日発行

広報

# 伊丹



## この号の主な内容

- 2面 伊丹ミュージアム春の催し
- 3面 図書館「ことば蔵」交流イベント
- 4面 引っ越しの手続きはお早めに
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口●195,641(-1,151) 世帯数●83,959(+338)  
 2024年3月1日推計 ( )は前年3月1日比  
 発行・伊丹市広報・シティプロモーション課



〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 Tel.072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報・シティプロモーション課) ホームページ <https://www.city.itami.lg.jp>

# 「未来が輝くまちづくり」を目指して

## 藤原市長 施政方針

藤原市長は2月21日の令和6年第1回市議会定例会で施政方針を表明し、総額870億円の来年度予算案を提案しました。施政方針の概要は次の通り。問い合わせは市政策室Tel.784-8007へ。

### 市政運営の決意

今年度12月から1月にかけて実施した市民意識調査では、本市に「非常に住みやすい」「住みやすい」と回答された人は、合計87.9%と、これまでの調査の中で最も高い評価となりました。

本市が展開するさまざまな施策をはじめ、豊かな自然環境、歴史、文化などの地域資源、交通の利便性、活発な市民活動など、多くのまちの魅力とその相乗効果によるものであると大変喜ばしく思っています。

本市の人口動態を見ても、国や県の傾向に反して微増傾向が続いていた人口が、コロナ禍の令和2年から減少に転じています。報道によれば、昨年の出生数は、人口動態調査開始以来、過去最少を更新する見通しとされています。

日本全体で人口減少が急速に進む中、将来にわたり持続可能なまちであり続けるためには、



子どもの健やかな成長を支える環境の整備や子育て世帯の経済的負担の軽減、さらには、社会全体で子どもや子育て世帯を支える気運を醸成することが必要です。

### 未来が輝くまちづくり

来年度は、コロナ禍という未曾有の事態を乗り越えて、新たな飛躍に向けて歩み出す重要な年となります。加えて、第6次伊丹市総合計画前期実施計画の最終年度であり、市長任期の4年目となります。

市民の皆さんに約束したマニフェストに掲げた施策の実現とともに、子どもたちの笑顔がふれ、未来に希望を抱くことのできる「未来が輝くまちづくり」を目指して果敢に取り組みます。

### 未来を担う人づくり

#### 【中学校給食費無償化・小学校給食費負担軽減事業】

中学生の学校給食費を全額無償化し、小学生の学校給食費についても引き続き食材費の物価上昇分を公費で負担。



#### 【保育定員の確保】



令和7年度に向けて民間保育施設で新たに120名分の保育定員を確保し、保育士の奨学金返還支援事業や保育人材就職促進事業など、民間保育事業者の保育人材の確保を支援。

#### 【放課後児童クラブの充実】

稲野児童クラブで支援室1室の増設工事で南児童クラブの令和7年度供用開始に向けて学校敷地内に専用棟の整備を進め、民間の児童クラブを誘致。

### 安全・安心のまちづくり

#### 【学校体育館空調設備整備事業】

2カ年をかけ全ての市立小・中・高等学校の体育館に空調設備を整備。

#### 【地域医療体制整備】

令和8年度の開院を目指し、夏頃に東棟が完成して外来診療の仮運用を開始。高度急性期医療に対応する西棟の工事に着手。近畿中央病院の跡地活用は、伊丹市医師会や阪神圏域の民間医療機関の意向を把握し、公立学校共済組合と跡地の売却に向けた協議を進める。



統合新病院イメージ図

### デジタル改革

#### ゼロカーボンシティの実現

##### 【子ども電子図書館の導入】

児童書を中心とした電子書籍約1400冊が閲覧できる子ども電子図書館を導入。

##### 【ゼロカーボンシティの実現】

豊中市伊丹市クリーンランドで発電した非化石電力を市内の学校施設などへ導入し、資源循環を学ぶ機会につなげる。本市と姉妹都市で森林資源を有する飯南町や海洋資源を有する阪南市などとの連携で、市民参画による環境保全活動により創出したカーボンクレジット活用など、地域資源を補完し支え合う取り組みで地域活力を高める。



植林用苗木作り

#### 大綱1 安全・安心

- ◆阪神・淡路大震災30年啓発イベントを実施
- ◆旧庁舎跡地に災害時は防災広場となる市民広場を整備
- ◆東消防署の救急車と化学車を更新 など

#### 大綱2 育ち・学び・共生社会

- ◆小学校へ授業アドバイザーを派遣
- ◆市内の小中学校に在籍する小学生の夏季休業期間中、市内プール7カ所を無料開放
- ◆中学校給食に有機栽培の米や野菜を使用 など

#### 大綱3 健康・医療・福祉

- ◆産後ケア事業を拡充
- ◆高齢者を対象に歯科衛生士による口腔機能低下予防に関する健康教育を実施
- ◆地域密着型サービスの介護施設を整備 など

#### 大綱4 市民力・にぎわい・活力

- ◆地域拠点施設「(仮称)伊丹交流センター」を整備
- ◆大阪・関西万博の開催に合わせ「清酒発祥の地 伊丹」や日本遺産などのPRを実施
- ◆市内企業で働く市内在住若年就労者の奨学金返済費用を補助 など

#### 大綱5 環境・都市基盤

- ◆市庁舎一般駐車場にEV急速充電器1台を設置
- ◆小学生を対象として夏季休業期間中に市営バス全線と阪急バス・阪神バスの市域走行路線が乗り放題の企画乗車券を販売
- ◆昆陽池公園の多目的広場トイレを「人と環境にやさしいトイレ」に更新 など

#### 大綱6 参画と協働・行政経営

- ◆住民基本台帳システムなど基幹系システムの業務分析を実施
- ◆事務の効率化のためデータ連携型生成AIを導入
- ◆職員採用情報のSNS発信やインターンシップを実施 など